

令和4年3月16日
千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。並[発生なし]は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
イネ	イネミズゾウムシ	やや少	2月越冬量：やや少(-)	<ul style="list-style-type: none"> 移植時に苗箱処理剤で薬剤防除する。
	イネクロカメムシ	並	2月越冬量：並	
	ヒメトビウンカ	少	2月越冬量：少(-)	<ul style="list-style-type: none"> イネ縞葉枯ウイルスを媒介する。
	スクミリンゴガイ	並	冬季気温(12~2月の気象庁アメダス千葉毎正時データの平均値)：並 前年6月の発生量：やや多(+) 前年6月の被害株率：やや多(+) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県 HP、安全農業推進課のジャンボタニシ被害防止対策 https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/nouyaku/applesnail.html 及びチラシ「ジャンボタニシによる被害を防ぐために-春夏期」 https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/nouyaku/documents/a4_tirashi_harunatsu.pdf を参照する。
冬春トマト	コナジラミ類	やや多	3月上旬発生量 オンシツコナジラミ：並[発生なし] タバココナジラミ：多(+) 気象予報：気温高(+) 日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 黄色粘着トラップの設置等で発生を的確に把握し、初期から薬剤防除する。 タバココナジラミについては、黄化葉巻病を媒介する。黄化葉巻病発病株は抜き取り、適切に処分する。 施設内外の除草等で耕種的防除に努める。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
春キャベツ	菌核病	やや多	3月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：気温高（+） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は速やかに抜き取ってほ場外に持ち出し、適切に処分する。 薬剤防除は株元まで薬剤が届くよう、ていねいに行う。 令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。
	アブラムシ類	並	3月上旬発生量：やや少（-） 2月黄色粘着トラップ誘殺数： 並 気象予報：気温高（+） 日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。 葉裏に薬剤が十分付着するようていねいに散布する。
	アザミウマ類	やや多	3月上旬発生量：多（+） 2月黄色粘着トラップ誘殺数： 並 気象予報：気温高（+） 日照時間並	
ハダニ類	やや少	3月上旬発生量：少（-） 気象予報：気温高（+） 日照時間並		
野菜共通（施設）	うどんこ病	やや多	3月上旬発生量 冬春トマト：多（+） イチゴ：やや少（-） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 被害葉や被害果は施設外に持ち出し、適切に処分する。 灰色かび病については、令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。
	灰色かび病	やや少	3月上旬発生量 冬春トマト：やや少（-） イチゴ：少（-） 気象予報：気温高（+） 日照時間並	
ナシ	黒星病	並	越冬菌密度 秋型病斑発病葉率： 並 罹病芽率：やや少（-） 気象予報（3か月予報）： 4月の降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 発病芽の除去は極めて重要なので、必ず実施する。 りん片脱落期直前から落花後約2週間の防除が重要なので、適期を逃さず防除する。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
果樹 共通	果樹カメムシ類	多	1月下旬越冬量：並 チャバネアオカメムシ早期発生 予測モデル：多（＋）	<ul style="list-style-type: none"> カメムシ類の発生量は、年次変動が激しく、地域差もあるため、地域の発生情報等も参考にする。 予測モデルについては、令和3年度病害虫発生予報第7号P7「Ⅲその他の情報」を参照する。
	アザミウマ類	並	2月下旬発生量：並 [発生なし] 2月黄色粘着トラップ誘殺数：並 気象予報：気温高（＋） 日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
カー ネー ション	ハダニ類	並	2月下旬発生量：並 [発生なし] 気象予報：気温高（＋） 日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	コナガ	並	2月下旬発生量 露地ストック：並 [発生なし] 3月上旬発生量 春キャベツ：並 [発生なし] 2月フェロモントラップ誘殺数：並 気象予報：気温高（＋） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期に防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
野菜・ 花き 共通				

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稲：2月中旬、野菜：3月上旬、果樹：2月、花き：2月下旬）

作物名（調査地域）	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ（県内全域）	イネミズゾウムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.10	1.55	0.23	前年6月調査 前年6月調査
	イネゾウムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.17	0.26	0.31	
	イネクロカメムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.03	0.10	0.00	
	ヒメトビウンカ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	0.83	2.46	2.02	
	ツマグロヨコバイ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	0.54	2.96	1.15	
	スクミリンゴガイ	被害株率（%）	2.13	0.84	4.06	
		1㎡当たり貝数	0.25	0.19	0.70	
冬春トマト （海匠、長生）	萎凋症	萎凋株率（%）	0.00	0.00	0.00	
	うどんこ病	発病株率（%）	7.60	1.60	1.20	
	灰色かび病	発病株率（%）	0.40	3.56	12.80	
		果実発病度	0.00	0.29	0.30	
	葉かび病	発病株率（%）	0.00	0.04	0.40	
	モザイク病	発病株率（%）	0.00	0.00	0.00	
	黄化葉巻病	発病株率（%）	0.10	0.23	0.40	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率（%）	0.00	0.04	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率（%）	1.20	0.00	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率（%）	0.00	0.16	0.80	
アザミウマ類	成幼虫寄生株率（%）	0.00	0.00	0.00		
春キャベツ（海匠）	菌核病	発病株率（%）	0.00	1.52	1.60	
	黒腐病	発病度	0.00	0.12	0.40	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率（%）	0.80	0.72	5.60	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.19	0.08	
イチゴ （海匠、山武、安房）	うどんこ病	発病株率（%）	0.71	1.83	1.18	
		発病果率（%）	0.02	0.14	0.10	
	灰色かび病	発病株率（%）	0.71	2.72	4.24	
		発病果率（%）	0.04	0.33	0.31	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率（%）	0.71	3.11	0.94	
		黄色粘着トラップ誘殺数	2.16	4.29	0.93	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率（%）	0.00	0.00	0.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率（%）	4.24	0.54	0.71	
	黄色粘着トラップ誘殺数	3.13	5.69	1.46		
	雌成虫寄生株率（%）	11.06	35.47	23.53		
ナシ（県内全域）	黒星病（秋型病斑）	発病葉率（%）	2.42	2.18	1.63	前年10月調査
	黒星病	罹病芽率（%）	0.43	1.75	0.50	
	輪紋病	発病度	0.00	0.16	0.00	
	卵越冬ハダニ類	産卵数	0.00	0.42	0.00	
	ナシチビガ	越冬蛹数	0.00	0.01	0.00	
果樹共通（県内全域）	チャバネアオカメムシ	越冬成虫数（頭/3㎡）	0.37	0.51	0.02	
カーネーション （安房）	萎凋病	発病株率（%）	0.00	0.76	0.00	
	立枯病	発病株率（%）	1.60	1.30	1.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率（%）	0.80	0.28	0.80	
	アザミウマ類	被害株率（%）	0.00	11.20	5.60	
		黄色粘着トラップ誘殺数	1.07	2.84	2.13	
	ヨトウムシ類	被害株率（%）	0.00	0.00	0.00	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率（%）	0.00	0.72	0.00	

*黄色粘着トラップ誘殺数：438㎡の黄色粘着トラップに30日間に誘殺された個体数

作物名（調査地域）	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
ストック（安房）	コナガ（露地）	被害株率（％）	14.40	13.97	8.80	
	コナガ（露地）	幼虫寄生株率（％）	0.00	1.31	0.00	
	コナガ（施設）	被害株率（％）	0.00	2.30	-	
	コナガ（施設）	幼虫寄生株率（％）	0.00	0.00	-	
	アブラムシ類（露地）	成幼虫寄生株率（％）	0.00	2.35	0.00	
	アブラムシ類（施設）	成幼虫寄生株率（％）	0.00	0.00	-	

トラップ月間日平均誘殺数（2月）

種類	病害虫名	トラップ設置場所	誘殺数（頭/日）			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠、安房	0.2	0.2	0.2	

○気象予報

3月10日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

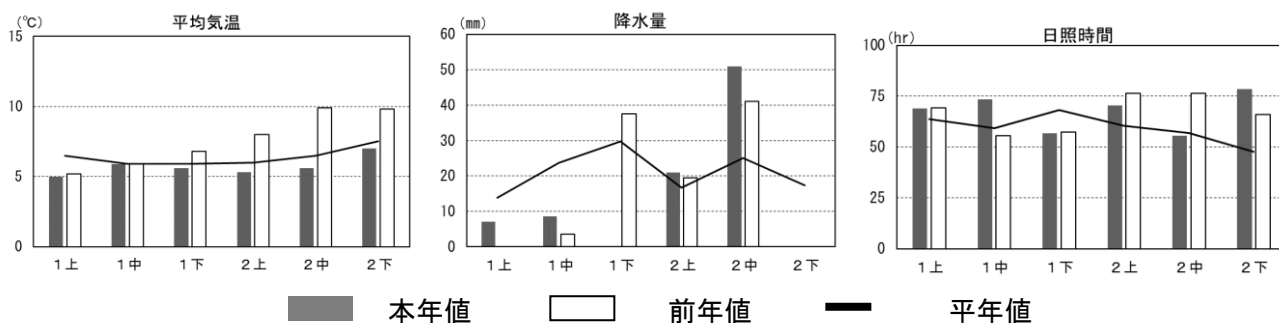
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	30	60
降水量	30	40	30
日照時間	40	30	30

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(3月16日～4月19日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	12.2	11.9	12.4
降水量(mm)	131.2	161.4	187.7
日照時間(hr)	197.3	202.5	197.8

出典：気象庁ホームページ



農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は4月19日です。なお、注意報等の臨時情報は、逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>

問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

